

コレクション 番号	属名	形容語	品種名	属の日本語 表記	品種名読み (日本語で表記される場合のみ、 国際栽培植物命名規約に従い、 修正ヘボン式ローマ字で記入)	植物名の日本語表記	特性情報	備考 (公開を希望しないときは列を灰色に塗りつぶす)	導入元・採取地 (非公開)	所在地 (公開を希望しないときは 列を灰色に塗りつぶす)	写真ファイル名 (非公開)
0001	Camellia	japonica	‘明石湯’	ツバキ	‘Akashigata’	ツバキ‘明石湯’	江戸椿、花は桃紅色、八重、平開咲き、筒しべ、極大輪 開花期は2~4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る、三倍体品種		国営武蔵丘陵森林公園	
0002	Camellia	japonica	‘秋の山’	ツバキ	‘Aki-no-yama’	ツバキ‘秋の山’	江戸椿、花は白地に紅色の縦絞り、一重、筒~ラッパ咲き、筒しべ、小~中輪 開花期は10~4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る、主幹のない帚状の樹形		国営武蔵丘陵森林公園	
0003	Camellia		‘浅香姫’	ツバキ	‘Asaka-hime’	ツバキ‘浅香姫’	花は桃色、一重、盃状咲き、筒しべ、有香、極小輪 開花期は3~4月	萩屋薫新潟大学名誉教授によって1974年に発表されたユキツバキとヒメサザンカの交配種		国営武蔵丘陵森林公園	
0004	Camellia	japonica	‘蜚小舟’	ツバキ	‘Ama-obune’	ツバキ‘蜚小舟’	江戸椿、花は朱紅色、八重、蓮華咲き、筒しべ、中~大輪 開花期は3~4月	1757年「百花椿名寄色付」に載る		国営武蔵丘陵森林公園	
0005	Camellia	japonica	‘天ケ下’	ツバキ	‘Ama-ga-shita’	ツバキ‘天ケ下’	花は濃紅色地に白斑が入る、一重、ラッパ~平開咲き、筒しべ、中~大輪 開花期は2~4月	1657-1699年「草木写生春秋之巻」と1681年「花壇綱目」に‘雨ケ下’の名前		国営武蔵丘陵森林公園	
0006	Camellia	japonica	‘天の川’	ツバキ	‘Ama-no-gawa’	ツバキ‘天の川’	江戸椿、花は白色、八重抱え咲き、中~大輪 開花期は3月~4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る		国営武蔵丘陵森林公園	
0007	Camellia	japonica	‘荒獅子’	ツバキ	‘Ara-jishi’	ツバキ‘荒獅子’	江戸椿、花は濃紅色地に白斑が入る、獅子咲き、中~大輪 開花期は9~4月	1879年「椿花集」に記載、8月下旬に咲くこともある		国営武蔵丘陵森林公園	
0008	Camellia	japonica	‘淡路島’	ツバキ	‘Awajishima’	ツバキ‘淡路島’	江戸椿、花は白~淡桃色地に紅色の縦絞り、唐子咲き、小輪 開花期は4~5月	1695年「花壇地錦抄」に載る		国営武蔵丘陵森林公園	
0009	Camellia	japonica	‘岩根紋’	ツバキ	‘Iwane-shibori’	ツバキ‘岩根紋’	江戸椿、花は濃紅色地に白斑が入る、八重、筒しべ、大輪 開花期は3~4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る		国営武蔵丘陵森林公園	
0010	Camellia	japonica	‘空蟬’	ツバキ	‘Utsusemi’	ツバキ‘空蟬’	江戸椿、花は白色、八重、中輪 開花期は3~5月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る		国営武蔵丘陵森林公園	
0011	Camellia	japonica	‘蝦夷錦’	ツバキ	‘Ezo-nishiki’	ツバキ‘蝦夷錦’	江戸椿、花は白~淡桃色地に、濃紅色の縦~小絞り、八重、筒しべ、大輪 開花期は3~4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る、シーボルトが‘トライカラー’と名付けて持ち帰った花		国営武蔵丘陵森林公園	
0012	Camellia	japonica	‘江戸錦’	ツバキ	‘Edo-nishiki’	ツバキ‘江戸錦’	江戸椿、花は白地に紅色の縦絞り、八重、筒しべ、中輪 開花期は3~4月	1868年「年内草花名寄」に載る、桃地に白覆輪を‘覆輪江戸錦’という		国営武蔵丘陵森林公園	
0013	Camellia	japonica	‘王冠’	ツバキ	‘Ōkan’	ツバキ‘王冠’	花は白地に濃紅色の覆輪、一重、平開咲き、雌しべおよび子房は淡緑色、梅芯、大輪 開花期は3~4月	肥後藩の江戸屋敷に植えられていた‘肥後日本錦’の枝変わり。1980年ごろ熊本市内の愛好家によって発見		国営武蔵丘陵森林公園	
0014	Camellia	japonica	‘大乱’	ツバキ	‘Ō-midare’	ツバキ‘大乱’	江戸椿、花は紅色地に大小の白斑が入る、弁幅広い八重、しべは貧弱、大輪 開花期は3~4月	1972年「現代椿集」では‘乱拍子’と別品種として載る		国営武蔵丘陵森林公園	
0015	Camellia	japonica	‘沖の石’	ツバキ	‘Oki-no-ishi’	ツバキ‘沖の石’	江戸椿、花は白地にわずかに紅色の縦絞りが入る、八重、中~大輪 開花期は3~4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」には白花とあるため、1879年「椿花集」が最初の記録		国営武蔵丘陵森林公園	
0016	Camellia	japonica	‘沖の浪’	ツバキ	‘Oki-no-nami’	ツバキ‘沖の浪’	江戸椿、花は淡桃色地に紅色の縦~小絞りとお白覆輪が入る、八重、蓮華咲き、筒~割りしべ、中~大輪 開花期は3~4月	1695年「花壇地錦抄」に載る		国営武蔵丘陵森林公園	
0017	Camellia	japonica	‘乙女椿’	ツバキ	‘Otome-tsubaki’	ツバキ‘乙女椿’	江戸椿、花は淡桃色、八重、中輪 開花期は12~4月	1829年「本草図譜」に載る		国営武蔵丘陵森林公園	
0018	Camellia	japonica	‘オランダ紅’	ツバキ	‘Oranda-kō’	ツバキ‘オランダ紅’	江戸椿、花は紅色地に花弁の尖った部分に白の縦筋入り、八重、中輪 開花期は4月	1739年「本草花時絵」に図説がある		国営武蔵丘陵森林公園	

0019	Camellia	japonica	‘顔好鳥’	ツバキ	‘Kaoyodori’	ツバキ‘顔好鳥’	江戸椿、花は淡桃色地に濃紅色の太い縦紋が入る、八重、筒～割りしべ、中～大輪 開花期は4～5月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0020	Camellia	japonica	‘限り’	ツバキ	‘Kagiri’	ツバキ‘限り’	江戸椿、花は白、千重、蓮華咲き、剣弁が整然と重なる、中輪 開花期は4月	1710年「増補地錦抄」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0021	Camellia	japonica	‘神楽獅子’	ツバキ	‘Kagura-jishi’	ツバキ‘神楽獅子’	江戸椿、花は淡桃色地に少数の紅色紋り、牡丹～獅子咲き、しべは弁に混じる、中輪 開花期は4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0022	Camellia	japonica	‘鹿児島’	ツバキ	‘Kagoshima’	ツバキ‘鹿児島’	江戸椿、花は紅色地に白斑が入る、八重、松笠型、割りしべ、小～中輪 開花期は3～4月	1739年「本草花時絵」に載る、外国名はパイコン、‘松笠’に白斑が入ったもの	国営武蔵丘陵森林公園
0023	Camellia	rusticana	‘春日野’	ツバキ	‘Kasugano’	ユキツバキ‘春日野’	江戸椿、ユキツバキ系、花は紅色地に白斑が入る、八重、割りしべ、中～大輪 開花期は4～5月	1695年「花壇地錦抄」に載る、ユキツバキ系	国営武蔵丘陵森林公園
0024	Camellia	japonica	‘通鳥’	ツバキ	‘Kayoidori’	ツバキ‘通鳥’	江戸椿、花は淡桃色地に少数の紅色の縦紋り、細い白覆輪、八重、宝珠を残す、中～大輪 開花期は1～4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0025	Camellia	japonica	‘唐糸’	ツバキ	‘Kara-ito’	ツバキ‘唐糸’	江戸椿、花は鮮紅色、唐子～牡丹咲き、散りしべ、中～大輪 開花期は4月	1695年「花壇地錦抄」に載る、白斑入りを‘御所車’という	国営武蔵丘陵森林公園
0026	Camellia	japonica	‘唐獅子’	ツバキ	‘Kara-jishi’	ツバキ‘唐獅子’	江戸椿、花は紅色、獅子～牡丹咲き、波曲、大輪 開花期は12～4月	1739年「本草花時絵」に載る、‘紅牡丹’に似るが腰高に咲く	国営武蔵丘陵森林公園
0027	Camellia	japonica	‘唐錦’	ツバキ	‘Kara-nishiki’	ツバキ‘唐錦’	江戸椿、花は淡桃色地に紅色の吹掛け～小紋り、八重、蓮華咲き、筒しべ、大輪 開花期は4月	1829年「本草図譜」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0028	Camellia	japonica	‘狩衣’	ツバキ	‘Kariginu’	ツバキ‘狩衣’	江戸椿、花は白～極淡桃色地に紅色の縦紋が入る、八重、割りしべ、散り性、中輪 開花期は4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0029	Camellia	japonica	‘灌花紋’	ツバキ	‘Kanka-shibori’	ツバキ‘灌花紋’	江戸椿、花は白地に紅色の縦紋りがわずかに入る、牡丹咲き、中輪 開花期は3～4月	1879年「椿花集」に初めて現在名で載る	国営武蔵丘陵森林公園
0030	Camellia	japonica	‘菊更紗’	ツバキ	‘Kiku-sarasa’	ツバキ‘菊更紗’	江戸椿、花は淡桃色地に紫紅色の縦～小紋り、千重、しべは小宝珠ができて、しべ見えず、中輪 開花期は11～4月	1739年「本草花時絵」に載る、紅花を‘桃菊’という	国営武蔵丘陵森林公園
0031	Camellia	japonica	‘菊冬至’	ツバキ	‘Kiku-tōji’	ツバキ‘菊冬至’	江戸椿、花は紅色地に白斑が入る、千重、中輪 開花期は11～3月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に記載、雲上斑、星斑と呼ばれる斑が特徴	国営武蔵丘陵森林公園
0032	Camellia	japonica	‘黄覆輪紅唐子’	ツバキ	‘Kifukurin-benikarako’	ツバキ‘黄覆輪紅唐子’	江戸椿、花は紅色、一重、唐子咲き、小輪 開花期は4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る、‘紅唐子’の枝変わり錦葉	国営武蔵丘陵森林公園
0033	Camellia	rusticana	‘黄覆輪弁天’	ツバキ	‘Kifukurin-benten’	ユキツバキ‘黄覆輪弁天’	江戸椿、ユキツバキ系、花は桃紅色、一重、小輪 開花期は4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0034	Camellia	japonica	‘君が代’	ツバキ	‘Kimigayo’	ツバキ‘君が代’	江戸椿、花は白、重ねの薄い八重、抱え咲き、大輪 開花期は3～4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0035	Camellia	japonica	‘京唐子’	ツバキ	‘Kyō-karako’	ツバキ‘京唐子’	江戸椿、花は白地に紅色～淡紅色、唐子咲き、大輪 開花期は3～4月	1933年皆川「椿花集」に載る、本種の枝変わり紅花を‘大唐子’、‘大唐子’に白斑が入るものを‘絞大唐子’という	国営武蔵丘陵森林公園
0036	Camellia	japonica	‘京牡丹’	ツバキ	‘Kyō-botan’	ツバキ‘京牡丹’	江戸椿、花は淡桃色地に紅色の大小の紋り、牡丹咲き、大輪 開花期は4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る、紅花を‘紅麒麟’という、関西の‘京牡丹’は‘桃色神楽’と改名	国営武蔵丘陵森林公園
0037	Camellia	japonica	‘玉牡丹’	ツバキ	‘Gyoku-botan’	ツバキ‘玉牡丹’	江戸椿、花は白、牡丹咲き、ときに二段咲き、中～大輪 開花期は3～4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る	国営武蔵丘陵森林公園

0038	Camellia	japonica	‘錦魚葉椿’	ツバキ	‘Kingyoba-tsubaki’	ツバキ‘錦魚葉椿’	江戸椿、花は桃紅色、一重、筒～平開咲き、筒しべ、中輪、葉の先端が金魚のように変化 開花期は3～4月	1789年「諸色花形帖」に載り、1827年「草木奇品家雅見」には数種の錦魚葉の記載がある	国営武蔵丘陵森林公園
0039	Camellia	japonica	‘孔雀椿’	ツバキ	‘Kujaku-tsubaki’	ツバキ‘孔雀椿’	花は紅地に白斑、八重、蓮華咲き、中～大輪 開花期は3～4月	三河地方で古くから栽培、各地へ広まった。枝垂れ咲と目を引く花姿。	国営武蔵丘陵森林公園
0040	Camellia	japonica	‘熊坂’	ツバキ	‘Kumasaka’	ツバキ‘熊坂’	江戸椿、花は桃紅色、濃い弁脈のある牡丹咲き、割～散りしべ、大輪 開花期は4～5月	1695年「花壇地錦抄」以降の古文献に載る、白斑の入る花を‘花橘’という、英名は‘レディ・マリオン’	国営武蔵丘陵森林公園
0041	Camellia	japonica	‘黒椿’	ツバキ	‘Kuro-tsubaki’	ツバキ‘黒椿’	江戸椿、花は暗紅色、松笠状の抱え咲き、重ねの薄い八重、光沢弁、小～中輪 開花期は4～5月	1829年「草木錦葉集」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0042	Camellia	japonica	‘見鷲’	ツバキ	‘Kenkyō’	ツバキ‘見鷲’	江戸椿、花は白、八重、蓮華咲き、しべは小唐子状、中～大輪 開花期は4月	1695年「花壇地錦抄」に‘白見鷲(しろみおどろき)’と載る	国営武蔵丘陵森林公園
0043	Camellia	japonica	‘源氏唐子’	ツバキ	‘Genji-karako’	ツバキ‘源氏唐子’	江戸椿、花は淡紅色地に白覆輪、唐子咲き、外弁は重ねの薄い八重、幅広い弁、中輪 開花期は4～5月	1859年「椿伊呂波名寄色附」や1879年の「椿花集」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0044	Camellia	japonica	‘源氏車’	ツバキ	‘Genji-guruma’	ツバキ‘源氏車’	江戸椿、花は紅色、二段咲き、中輪 開花期は11～3月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る、別名、‘二重鶴’	国営武蔵丘陵森林公園
0045	Camellia	japonica	‘碁石’	ツバキ	‘Goishi’	ツバキ‘碁石’	江戸椿、花は桃色地に白斑が入る、八重、中～大輪 開花期は4～5月	1739年「本草花時絵」に載る、名は白斑を白の碁石に見立てたもの	国営武蔵丘陵森林公園
0046	Camellia	japonica	‘紅乙女’	ツバキ	‘Kō-otome’	ツバキ‘紅乙女’	江戸椿、花は濃紅色、千重、中輪 開花期は12～4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る、英名は‘チャフル’	国営武蔵丘陵森林公園
0047	Camellia	japonica	‘紅麒麟’	ツバキ	‘Kō-kirin’	ツバキ‘紅麒麟’	江戸椿、花は濃紅色、牡丹咲き～獅子咲き、散りしべ、大輪 開花期は4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0048	Camellia	japonica	‘紅獅子’	ツバキ	‘Kō-jishi’	ツバキ‘紅獅子’	江戸椿、花は濃紅色、唐子咲き、外弁は波曲、唐子弁としべは不規則に密生する、中～大輪 開花期は12～4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0049	Camellia	japonica	‘古金襴’	ツバキ	‘Kokinran’	ツバキ‘古金襴’	江戸椿、花は白地に濃紅色の大小縦～吹掛け絞り、八重～牡丹咲き、大輪 開花期は3～4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0050	Camellia	japonica	‘黒龍’	ツバキ	‘Kokuryū’	ツバキ‘黒龍’	江戸椿、花は暗紅色、八重、唐子咲き、はじめは宝珠形、中輪 開花期は4～5月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る、白斑入りを‘黒龍絞’という	国営武蔵丘陵森林公園
0051	Camellia	japonica	‘胡蝶侘助’	ツバキ	‘Kochō-wabisuke’	ツバキ‘胡蝶侘助’	江戸椿、花は桃紅色地に白斑、一重、猪口咲き、極小輪 開花期は3～4月	江戸時代、侘助といえはこの花を挿した。金閣寺方丈庭園には後水尾天皇お手植えと伝わる古木が現存	国営武蔵丘陵森林公園
0052	Camellia	japonica	‘小紅葉’	ツバキ	‘Ko-momiji’	ツバキ‘小紅葉’	江戸椿、花は白～桃色地に紅色の縦絞り、八重、散りしべ、中輪 開花期は4月	1879年「椿花集」に載る、‘覆輪一休’の枝変わり	国営武蔵丘陵森林公園
0053	Camellia	japonica	‘盃葉椿’	ツバキ	‘Sakazukiba-tsubaki’	ツバキ‘盃葉椿’	江戸椿、花は朱紅色、一重、筒～ラッパ咲き、中輪 開花期は4～5月	1827年「草木奇品家雅見」に載る、染色体は2n = 44の異数体で不稔	国営武蔵丘陵森林公園
0054	Camellia	japonica	‘桜葉源氏’	ツバキ	‘Sakuraba-genji’	ツバキ‘桜葉源氏’	江戸椿、花は白～淡桃色地に紅と淡紅の縦小絞り、八重、中～大輪 開花期は3～4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」の載る	国営武蔵丘陵森林公園
0055	Camellia	japonica	‘漣’	ツバキ	‘Sazanami’	ツバキ‘漣’	江戸椿、花は淡桃色地に紅色の縦～小絞りが入る、八重、筒しべ、大輪 開花期は3～4月	1695年「花壇地錦抄」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0056	Camellia	japonica	‘薩摩’	ツバキ	‘Satsuma’	ツバキ‘薩摩’	花は白、千重、各弁内曲、大輪 開花期は2～4月	鹿児島仙巖園で栽培されていた古典品種、1973年鹿児島生物趣味の会が発表	国営武蔵丘陵森林公園
0057	Camellia	japonica	‘四海波’	ツバキ	‘Shikainami’	ツバキ‘四海波’	江戸椿、花は白～淡桃色地に紅色の縦絞りが入る散りしべ、八重、中輪 開花期は4月	1812年「つばき名よ勢帖」に載る、1739年「本草花時絵」の‘四階波’は別品	国営武蔵丘陵森林公園

0058	Camellia	japonica	‘獅子頭’	ツバキ	‘Shishi-gashira’	ツバキ‘獅子頭’	江戸椿、花は淡桃色の唐子咲き、ときに牡丹咲きにもなる、小～中輪 開花期は3～4月	1879年「椿花集」に載る、類似の‘神楽獅子’は紅色の絞りが入るので区別できる	国営武蔵丘陵森林公園
0059	Camellia	japonica	‘日月星’	ツバキ	‘Jitsugetsusei’	ツバキ‘日月星’	肥後椿、花は濃紅色地に不規則な白斑入り、一重、平開咲き、花糸・花柱は赤みを帯びる、梅芯、中輪 開花期は3～4月	肥後椿は江戸中期の藩主細川重賢の時代に発展‘肥後京錦’の枝変わりの系譜	国営武蔵丘陵森林公園
0060	Camellia	japonica	‘蕊なし侘助’	ツバキ	‘Shibenashi-wabisuke’	ツバキ‘蕊なし侘助’	江戸椿、花は紫色を帯びた桃色、一重、ラッパ咲き、子房有毛、小輪 開花期は3～4月	‘ワビスケツバキ、江戸期には‘真クリ’の名で、1910年に牧野富太郎は‘桃色侘助’、1966年に津山尚が現在の名に改めた	国営武蔵丘陵森林公園
0061	Camellia	japonica	‘絞乙女’	ツバキ	‘Shibori-otome’	ツバキ‘絞乙女’	江戸椿、花は極淡桃色地に紅色の大小縦絞りが入る、千重、小～中輪 開花期は3～4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0062	Camellia	japonica	‘絞唐子’	ツバキ	‘Shibori-karako’	ツバキ‘絞唐子’	江戸椿、花は白地に紅色の縦絞りが入る、一重、唐子咲き、中輪 開花期は3～4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る、別名、‘錦裳(関西)’、‘絞ト伴(中部)’	国営武蔵丘陵森林公園
0063	Camellia	japonica	‘衆芳唐子’	ツバキ	‘Shūhō-karako’	ツバキ‘衆芳唐子’	江戸椿、花は濃紅色、唐子咲き、中輪 開花期は4～5月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0064	Camellia	japonica	‘縺子重’	ツバキ	‘Shusugasane’	ツバキ‘縺子重’	江戸椿、花は朱紅色、八重、短い筒しべ、中輪 開花期は4～5月	1829年「本草図譜」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0065	Camellia	japonica	‘酒中花’	ツバキ	‘Shuchūka’	ツバキ‘酒中花’	江戸椿、花は白地に紅覆輪、紅色の縦絞りが入る、牡丹咲き、不完全な散りしべ、中輪 開花期は3～4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0066	Camellia	japonica	‘聚楽’	ツバキ	‘Juraku’	ツバキ‘聚楽’	花は淡桃色地に淡紫紅色の覆輪ほかし、一重、平開咲き、筒しべ、大輪 開花期は4月	1950年代に大阪の片山樹楽園が作出、園芸学者の菊池秋雄京都大学名誉教授が命名。	国営武蔵丘陵森林公園
0067	Camellia	japonica	‘蜀紅’	ツバキ	‘Shokkō’	ツバキ‘蜀紅’	江戸椿、花は濃紅色地に白斑が入る、一重、筒咲き、筒しべ、中輪 開花期は3～4月	1739年「本草花時絵」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0068	Camellia	japonica	‘白菊’	ツバキ	‘Shiragiku’	ツバキ‘白菊’	江戸椿、花は白、重ねの厚い千重、細長い桶状弁はときに列弁咲きにもなる、中輪 開花期は3～4月	1695年「花壇地錦抄」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0069	Camellia	japonica	‘白玉’	ツバキ	‘Shiratama’	ツバキ‘白玉’	江戸椿、花は白、一重、やや抱え性の筒咲き、筒しべ、蕾が丸いのが特徴、小輪 開花期は10～3月	江戸期からの古典品種、京都の名椿の一つ、別名、‘初嵐白玉’	国営武蔵丘陵森林公園
0070	Camellia	japonica	‘白玉絞’	ツバキ	‘Shiratama-shibori’	ツバキ‘白玉絞’	江戸椿、花は白地に紅色の縦絞りが入る、一重、ラッパ咲き、筒しべ、中輪 開花期は11～4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0071	Camellia	japonica	‘白拍子’	ツバキ	‘Shirabyōshi’	ツバキ‘白拍子’	江戸椿、花は白、牡丹咲き、時に唐子咲き、花底が淡黄色を帯びる、散りしべ、大輪 開花期は11～4月	1879年「椿花集」に載る、別名、‘与平白’	国営武蔵丘陵森林公園
0072	Camellia	rusticana	‘白唐子’	ツバキ	‘Shiro-karako’	ツバキ‘白唐子’	江戸椿、ユキツバキ系、花は白、一重、唐子咲き、小輪 開花期は11～3月	1847年「剪花翁伝」に載る、横張り性	国営武蔵丘陵森林公園
0073	Camellia	x intermedia	‘白太神楽’	ツバキ	‘Shiro-daikagura(Kantō)’	ユキバタツバキ‘白太神楽(関東)’	ユキバタツバキ系、花は白、牡丹～獅子咲き、散りしべ、中～大輪 開花期は11～4月	1891年の横浜植木のカタログ、1933年皆川「椿花集」に掲載。‘舞吹雪’の枝変わり	国営武蔵丘陵森林公園
0074	Camellia	japonica	‘白侘助’	ツバキ	‘Shiro-wabisuke’	ツバキ‘白侘助’	江戸椿、花は白、一重、猪口咲き、極小輪 開花期は11～3月	‘ワビスケツバキ、1789年「諸色花形帖」に‘白侘助’の名で記載のあるのが最初のものである	国営武蔵丘陵森林公園
0075	Camellia	japonica	‘数寄屋’	ツバキ	‘Sukiya’	ツバキ‘数寄屋’	江戸椿、花は淡桃色地に淡紅色のほかしが入る、一重、猪口咲き、小輪 開花期は12～3月	‘ワビスケツバキ、現在の‘数寄屋’は1879年「椿花集」に始まり、それ以前の文献1739年「本草花時絵」では‘数寄屋’は現在の‘初雁’を指している	国営武蔵丘陵森林公園
0076	Camellia	japonica	‘鈴鹿の関’	ツバキ	‘Suzuka-no-seki’	ツバキ‘鈴鹿の関’	江戸椿、花は赤紅色、白の星斑が入る、八重、大輪 開花期は春	1879年「椿花集」に載る、他所ではなかなか見ることができない希少品種	国営武蔵丘陵森林公園

0077	Camellia	japonica	‘墨染’	ツバキ	‘Sumizome’	ツバキ‘墨染’	江戸椿、花は紫紅色、千重、中輪 開花期は4～5月	‘染川’の枝変りの紅花、1879年「椿花集」に載る、白花を‘白乙女’という	国営武蔵丘陵森林公園
0078	Camellia	japonica	‘隅田川(角田川)’	ツバキ	‘Sumidagawa’	ツバキ‘隅田川(角田川)’	江戸椿、花は紅色地に白斑が入る、八重～牡丹咲き、蓮華性、中～大輪 開花期は3～4月	1739年「本草花蒔絵」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0079	Camellia		‘西王母’	ツバキ	‘Seiōbo’	ツバキ‘西王母’	花は淡桃色地に外弁に紅色のほかし、一重、筒咲き、中輪 開花期は9～4月	超早咲き、加賀佐助の自然実生と推定され、幕末より柴山家に植栽と伝わる	国営武蔵丘陵森林公園
0080	Camellia	japonica	‘草紙洗’	ツバキ	‘Sōshiarai’	ツバキ‘草紙洗’	江戸椿、花は淡桃色地に濃い紅色の大小縦紋りが密に入る、八重、ときに白斑が入る、筒しべ、中～大輪 開花期は3～4月	1841年「古今要覧稿」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0081	Camellia	japonica	‘染川’	ツバキ	‘Somekawa’	ツバキ‘染川’	江戸椿、花は淡桃色地に紫紅色の縦～小紋りが入る、千重、はじめは宝珠咲き、中輪 開花期は4～5月	1879年「椿花集」に載る、枝変りが出やすく、白花を‘白乙女’、紅花を‘墨染’という	国営武蔵丘陵森林公園
0082	Camellia	japonica	‘太神楽’	ツバキ	‘Daikagura’	ツバキ‘太神楽’	江戸椿、花は紅色地に白斑が入る、牡丹～獅子咲き、大輪 開花期は10～3月	‘紅太神楽’の白斑入り、1789年「諸色花形帖」に載る、別名、‘清緋’、‘照日’、‘清日’、‘絞太神楽(中部)’、‘石橋(京都・長福寺)’など	国営武蔵丘陵森林公園
0083	Camellia	japonica	‘多福弁天’	ツバキ	‘Tafuku-benten’	ツバキ‘多福弁天’	江戸椿、花は淡紅色に幅広の白覆輪、一重、碗咲き、中輪 開花期は3～4月	1812年「つばき名よ勢帖」に載る古い品種、糸覆輪の枝変りを‘三笠の月’という	国営武蔵丘陵森林公園
0084	Camellia	japonica	‘玉霞’	ツバキ	‘Tama-gasumi’	ツバキ‘玉霞’	花は白～淡桃色地に吹掛け紋り、紅花も咲く、一重、抱え咲き、小～中輪 開花期は11～4月	1968年に愛知県稲沢市の園芸家桜木春一によって命名、発表	国営武蔵丘陵森林公園
0085	Camellia	japonica	‘玉手箱’	ツバキ	‘Tamatebako’	ツバキ‘玉手箱’	江戸椿、花は白色、八重～宝珠咲き、中～大輪 開花期は4月	古くから愛知県下にあったもので、1933年「椿銘鑑」にはその名がある	国営武蔵丘陵森林公園
0086	Camellia	japonica	‘玉之浦’	ツバキ	‘Tama-no-ura’	ツバキ‘玉之浦’	花は濃紅色に白覆輪、一重、筒～ラッパ咲き、筒しべ、中輪 開花期は1～4月	長崎県五島列島福江島に自生するヤブツツバキの突然変異で生まれ1973年の椿展で発表され、人気品種となる	国営武蔵丘陵森林公園
0087	Camellia	japonica	‘太郎冠者’	ツバキ	‘Tarōkaja’	ツバキ‘太郎冠者’	江戸椿、花は紫色を帯びた桃色でときに白斑が入る、一重、筒～ラッパ咲き、中輪 開花期は12～4月	江戸時代以前の古種で、佐助椿の起源と考えられている。本種の実生から色々なワビスケツバキができる	国営武蔵丘陵森林公園
0088	Camellia	japonica	‘千歳菊’	ツバキ	‘Chitose-giku’	ツバキ‘千歳菊’	江戸椿、花は紅色の各弁の中央に白筋が入る、千重、中輪 開花期は4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る、類似品種に‘一筋’、‘オランダ紅’などがある	国営武蔵丘陵森林公園
0089	Camellia	japonica	‘蝶千鳥’	ツバキ	‘Chō-chidori’	ツバキ‘蝶千鳥’	江戸椿、花は白、一重、ラッパ咲き、筒しべ、中輪 開花期は3～4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0090	Camellia	rusticana	‘津川紋’	ツバキ	‘Tsugawa-shibori’	ユキツバキ‘津川紋’	ユキツバキ系、花は淡桃色地に紅色の縦紋り、千重、ときに列弁咲き、花弁は肉厚で細長い、中輪 開花期は3～4月	ユキツバキの群生地として有名な新潟県東蒲原郡積川町で誕生、枝変わりしやすく真紅の花や花弁の丸い花なども咲く	国営武蔵丘陵森林公園
0091	Camellia	japonica	‘月見車(中部)’	ツバキ	‘Tsukimi-guruma(Chūbu)’	ツバキ‘月見車(中部)’	江戸椿、花は桃色地に底白、一重、平開咲き、輪芯、中輪 開花期は2～4月	古い品種で名古屋市東山植物園に大樹があり、熊本の‘御所桜(肥後)’は異名同種といわれている	国営武蔵丘陵森林公園
0092	Camellia	japonica	‘釣篝’	ツバキ	‘Tsurikagari’	ツバキ‘釣篝’	江戸椿、花は朱紅色地に白斑が入る、八重、花弁はやや中折れ、筒しべ、中～大輪 開花期は3～4月	1829年「本草図譜」に載る、‘沖の浪’の枝変わりの‘藻汐’にさらに白斑が入ったもの。江戸椿の「江戸五木」に数えられる。	国営武蔵丘陵森林公園
0093	Camellia	japonica	‘鶴の毛衣’	ツバキ	‘Tsuru-no-kegoromo’	ツバキ‘鶴の毛衣’	江戸椿、花は極淡桃色、八重、細い筒しべ、中輪 開花期は3～4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0094	Camellia	japonica	‘天人松島’	ツバキ	‘Tennin-matsushima’	ツバキ‘天人松島’	江戸椿、花は桃色地に濃紅色の縦紋りと白覆輪、一重、平開咲き、筒しべ、大輪 開花期は3～4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0095	Camellia	japonica	‘鴉白’	ツバキ	‘Tokijiro’	ツバキ‘鴉白’	江戸椿、花は鴉色～移り白色、八重咲き、筒しべ、中～大輪 開花期は3～4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る	国営武蔵丘陵森林公園

0096	Camellia	japonica	‘鴉の羽重’	ツバキ	‘Toki-no-hagasane’	ツバキ‘鴉の羽重’	江戸椿、花は移り白～極淡桃色、宝珠から八重、牡丹咲き、筒～割しべ、大輪 開花期は4～5月	1879年「椿花集」に載る、江戸期からの品種	国営武蔵丘陵森林公園
0097	Camellia	japonica	‘鶏の子’	ツバキ	‘Tori-no-ko’	ツバキ‘鶏の子’	江戸椿、花は桃色地に濃紅色の縦絞り、蓮華咲き、八重、筒しべ、大輪 開花期は4～5月	1710年「増補地錦抄」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0098	Camellia	japonica	‘南蛮星’	ツバキ	‘Nanban-boshi’	ツバキ‘南蛮星’	江戸椿、花は紅色地に白の星班が入る、八重～千重、雄しべは退化して貧弱、小輪 開花期は3～4月	1695年「花壇地錦抄」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0099	Camellia	japonica	‘拔筆’	ツバキ	‘Nukifude’	ツバキ‘拔筆’	江戸椿、花は淡紅色地に濃紅色の縦～小絞りが密に入る、一重、ラッパ咲き、筒しべ、中輪 開花期は3～4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0100	Camellia	japonica	‘後瀬山’	ツバキ	‘Nochiseyama’	ツバキ‘後瀬山’	江戸椿、花は淡桃色、八重、抱え咲き、不完全な筒しべ、中輪 開花期は3～4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載るが、詳細不明	国営武蔵丘陵森林公園
0101	Camellia	japonica	‘白乙女’	ツバキ	‘Haku-otome’	ツバキ‘白乙女’	江戸椿、花は白、千重、初めは宝珠咲き、中輪 開花期は4～5月	‘染川’の枝変わり、1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る、暗紅紫色になったものを‘墨染’という	国営武蔵丘陵森林公園
0102	Camellia	japonica	‘白牡丹’	ツバキ	‘Haku-botan’	ツバキ‘白牡丹’	江戸椿、花は白、牡丹咲き、散りしべ、大輪 開花期は4月	1879年「椿花集」に載る、古品種	国営武蔵丘陵森林公園
0103	Camellia	japonica	‘白露錦’	ツバキ	‘Hakuro-nishiki’	ツバキ‘白露錦’	江戸椿、花は白～淡桃色地に、紅色の吹掛け～小絞りが入る、八重、抱え咲き、筒～割しべ、中～大輪 開花期は11～4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0104	Camellia	japonica	‘羽衣’	ツバキ	‘Hagoromo’	ツバキ‘羽衣’	江戸椿、花は淡桃色地で、弁の基部は少し淡い色となる、八重、蓮華咲き、筒しべ、中～大輪 開花期は3～4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0105	Camellia	japonica	‘初嵐’	ツバキ	‘Hatsu-arashi’	ツバキ‘初嵐’	花は移り白、一重、筒咲き～ラッパ咲き、筒しべ、蕾が尖る、中輪 開花期は10～3月	江戸時代後期の1847年「剪花翁伝」に「至って清雅なり」と評され、茶人に愛好された京都の名花	国営武蔵丘陵森林公園
0106	Camellia	japonica	‘初雁’	ツバキ	‘Hatsukari’	ツバキ‘初雁’	江戸椿、花は極淡桃色地に淡紅色の絞りやほかしが入る、一重、ラッパ咲き、筒しべ、小輪 開花期は11～3月	1739年「本草花蒔絵」に‘数寄屋’の名で載るものが本種、1879年の「椿花集」で改名された	国営武蔵丘陵森林公園
0107	Camellia	japonica	‘白鷗’	ツバキ	‘Hakkan’	ツバキ‘白鷗’	江戸椿、花は紅色地に白斑が入る、一重、平開咲き、筒しべ、大輪 開花期は4月	1719年「広益地錦抄」に載る、‘白鷗’は中国産の鳥の名、‘糊こぼし’と同一種といわれる	国営武蔵丘陵森林公園
0108	Camellia	japonica	‘初瀬山’	ツバキ	‘Hatsuseyama’	ツバキ‘初瀬山’	江戸椿、花は淡桃色地に濃紅色の縦小絞り、ときに紅花も出る、八重、蓮華咲き、筒しべ、大輪 開花期は4～5月	1878年「椿花集」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0109	Camellia	japonica	‘花車’	ツバキ	‘Hana-guruma’	ツバキ‘花車’	江戸椿、花は白または極淡桃色地に紅色の縦絞りが入る、八重、二段咲き、中～大輪 開花期は12～4月	1739年「本草花蒔絵」に載る、枝変りの紅花を‘源氏車’という	国営武蔵丘陵森林公園
0110	Camellia	japonica	‘花橋’	ツバキ	‘Hana-tachibana’	ツバキ‘花橋’	江戸椿、花は桃紅色地に白斑が入る、八重～牡丹咲き、筒～散りしべ、大輪 開花期は4～5月	‘熊坂’に白斑は入ったもの、1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0111	Camellia	japonica	‘花見車’	ツバキ	‘Hanami-guruma’	ツバキ‘花見車’	江戸椿、花は淡桃色地に紅色の小絞り、一重、平開咲き、筒しべ、小輪 開花期は3～4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0112	Camellia	japonica	‘春の台’	ツバキ	‘Haru-no-utena’	ツバキ‘春の台’	江戸椿、花は白～淡桃色地に紅色の縦絞りが入る、八重、蓮華咲き、筒しべ、まれに紅花、白覆輪花も出る、大輪 開花期は4月	1841年「古今要覧稿」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0113	Camellia	japonica	‘柊葉椿’	ツバキ	‘Hiiragiba-tsubaki’	ツバキ‘柊葉椿’	江戸椿、花は紅色、一重、筒咲き、筒しべ、小輪 開花期は2～4月	1710年「増補地錦抄」や1829年「草木錦葉集」に載る	国営武蔵丘陵森林公園

0114	Camellia	japonica	‘光源氏’	ツバキ	‘Hikaru Genji’	ツバキ‘光源氏’	江戸椿、花は淡紅色地に紅色の縦絞りや白覆輪が入る、牡丹咲き、散りしべ、大輪 開花期は3~4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0115	Camellia	japonica	‘日暮’	ツバキ	‘Higurashi’	ツバキ‘日暮’	江戸椿、花は白~淡桃色地に紅色の縦絞りや白覆輪、八重、筒しべ、中~大輪 開花期は4~5月	1841年「古今要覧稿」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0116	Camellia	japonica	‘緋縮緬’	ツバキ	‘Hi-jirimen’	ツバキ‘緋縮緬’	江戸椿、花は朱紅色、八重、抱え咲き、筒しべ、中輪 開花期は3~4月	1719年「広益地錦抄」に載り、1712年にケンベルがヨーロッパに紹介した、類似に‘緋色沖の石’	国営武蔵丘陵森林公園
0117	Camellia	japonica	‘一筋’	ツバキ	‘Hitosuji’	ツバキ‘一筋’	江戸椿、花は紅色地に白筋が入る、千重、外弁は大きく内弁は漸次小さく内曲する、小~中輪 開花期は4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0118	Camellia	japonica	‘緋蓮華’	ツバキ	‘Hi-rence’	ツバキ‘緋蓮華’	江戸椿、花は桃紅色~紅色、八重、蓮華咲き、筒しべ、大輪 開花期は3~4月	‘連’の紅花枝変り、1695年「花壇地錦抄」に‘火の蓮花’と載ったのが最初	国営武蔵丘陵森林公園
0119	Camellia	japonica	‘吹上絞’	ツバキ	‘Fukiage-shibori’	ツバキ‘吹上絞’	花は白地に濃紅色の縦~小絞り、成木になると枝変わり花が出やすい、八重、筒しべ、大輪 開花期は2~4月	福岡県久留米市に古くから伝わる古典椿で‘正義’と並ぶ久留米椿の代表花	国営武蔵丘陵森林公園
0120	Camellia	japonica	‘覆輪一休’	ツバキ	‘Fukurin-Ikkyū’	ツバキ‘覆輪一休’	江戸椿、花は淡桃色地に紅色の縦絞りや白覆輪、八重、蓮華咲き、小輪 開花期は4月	‘小紅葉’の枝変り、1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0121	Camellia	japonica	‘紅荒獅子’	ツバキ	‘Beni-arajishi’	ツバキ‘紅荒獅子’	江戸椿、花は紅色、獅子咲き、中~大輪 開花期は9~4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る、‘荒獅子’の白斑がないもの	国営武蔵丘陵森林公園
0122	Camellia	japonica	‘紅唐子’	ツバキ	‘Beni-karako’	ツバキ‘紅唐子’	江戸椿、花は濃朱紅色、一重、唐子咲き、小輪 開花期は3~4月	1739年「本草花蒔絵」には‘唐子’として載り、‘紅唐子’の名は1879年「椿花集」に載る、別名、‘日光（関西）’、‘紅ト伴（中部）’	国営武蔵丘陵森林公園
0123	Camellia	japonica	‘紅車’	ツバキ	‘Beni-guruma’	ツバキ‘紅車’	江戸椿、花は濃桃色、八重、割しべ、中輪 開花期は4~5月	1879年「椿花集」に載る、これより古い資料は異種とみられる	国営武蔵丘陵森林公園
0124	Camellia	japonica	‘紅千鳥’	ツバキ	‘Beni-chidori’	ツバキ‘紅千鳥’	江戸椿、花は紅色地に白斑が入る、八重、散りしべ、中輪 開花期は4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る古典品種、類似品種に‘星車’	国営武蔵丘陵森林公園
0125	Camellia	japonica	‘紅妙蓮寺’	ツバキ	‘Beni-Myōrenji’	ツバキ‘紅妙蓮寺’	花は紅色、一重、輪芯、中輪 開花期は11~4月	尾張藩の古種、茶花として評価が高い	国営武蔵丘陵森林公園
0126	Camellia	japonica	‘紅侘助’	ツバキ	‘Beni-wabisuke’	ツバキ‘紅侘助’	江戸椿、花は紅~桃紅色、一重、猪口咲き、小輪 開花期は12~3月	ワビスケツバキ、花に白斑の入るものを‘絞侘助’という、1879年「椿花集」に載る	国営武蔵丘陵森林公園
0127	Camellia	japonica	‘弁慶’	ツバキ	‘Benkei’	ツバキ‘弁慶’	花は濃紅色、八重、ときに雄しべが弁化して唐子になる、大輪 開花期は3~4月	1967年兵庫県の金岡椿樹園によって発表	国営武蔵丘陵森林公園
0128	Camellia	japonica	‘弁天椿’	ツバキ	‘Benten-tsubaki’	ツバキ‘弁天椿’	江戸椿、花は紅色、一重、葉に黄緑色の覆輪 開花期は3~4月	1933年皆川「椿花集」に載る、‘太神楽’の枝変わり	国営武蔵丘陵森林公園
0129	Camellia	japonica	‘ト伴’	ツバキ	‘Bokuhan’	ツバキ‘ト伴’	江戸椿、花は濃紅色、一重、唐子咲き、花芯の唐子は白、小輪 開花期は3~4月	1719年「広益地錦抄」など江戸期より知られた古典品種中の名花、別名、‘月光’、‘白芯ト伴（愛知）’、白斑入りは星入りは‘星入ト伴’	国営武蔵丘陵森林公園
0130	Camellia	rusticana	‘星車’	ツバキ	‘Hoshi-guruma’	ユキツバキ‘星車’	江戸椿、ユキツバキ系、花は濃紅色地に白斑が入る、千重、中輪 開花期は3~4月	1695年「花壇地錦抄」の‘星火車’は本種か、紅花を‘緋車’という	国営武蔵丘陵森林公園
0131	Camellia	japonica	‘正義’	ツバキ	‘Masayoshi’	ツバキ‘正義’	花は濃紅色に大小の白斑が入る、八重、蓮華咲き、筒しべ、大輪 開花期は3~4月	シーボルトが持ち帰り‘ドンケラリー’という名で欧米で人気、戦後逆輸入で再認識、久留米市の古種、市内に推定300年の古木が存在	国営武蔵丘陵森林公園
0132	Camellia	japonica	‘真鶴’	ツバキ	‘Mana-zuru’	ツバキ‘真鶴’	江戸椿、花は白、一重、椀咲き、輪芯 開花期は3~4月	1912年「椿花競鑑」に記載のある古い品種	国営武蔵丘陵森林公園
0133	Camellia	japonica	‘眉間尺’	ツバキ	‘Miken-jaku’	ツバキ‘眉間尺’	江戸椿、花は紅色地に大小の白斑が入る、八重、筒しべ、大輪 開花期は3~4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に記載、‘星牡丹’に似るも花弁反曲せず、三倍体品種	国営武蔵丘陵森林公園

0134	Camellia	japonica	‘都鳥’	ツバキ	‘Miyakodori’	ツバキ‘都鳥’	江戸椿、花は白、八重、蓮華咲き、筒～割し べ、中～大輪 開花期は4月	1841年「古今要覧稿」に原色図がある		国営武蔵丘陵森林公園
0135	Camellia	japonica	‘紫椿’	ツバキ	‘Murasaki-tsubaki’	ツバキ‘紫椿’	江戸椿、花は紫を帯びた淡紅色、重ねの少な い千重～列弁咲き、中輪 開花期は4月	希少品種、1879年「椿花集」に記載		国営武蔵丘陵森林公園
0136	Camellia	japonica	‘無類紋’	ツバキ	‘Murui-shibori’	ツバキ‘無類紋’	江戸椿、花は淡桃色地に紅色の小絞りが入 る、八重、筒～割しべ、中～大輪 開花期は3～4月	1879年「椿花集」に載る		国営武蔵丘陵森林公園
0137	Camellia	japonica	‘藻汐’	ツバキ	‘Moshio’	ツバキ‘藻汐’	江戸椿、花は深い朱紅色、八重、蓮華咲き、 筒しべ、中～大輪 開花期は4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る、‘沖の浪’ の紅花枝変り		国営武蔵丘陵森林公園
0138	Camellia	japonica	‘紋縹子’	ツバキ	‘Monjusu’	ツバキ‘紋縹子’	江戸椿、花は濃紅色地に白斑が入る、八重、 筒しべ、中輪 開花期は4～5月	‘縹子重’に白斑が入っているもの、1859年「椿 伊呂波名寄色附」に記載、現在市販されている‘ 鈴鹿関’、‘羅撰染’は本種と同一のものが多い		国営武蔵丘陵森林公園
0139	Camellia	japonica	‘雪牡丹’	ツバキ	‘Yuki-botan’	ツバキ‘雪牡丹’	江戸椿、花は白、牡丹咲き、散りしべ、極大 輪 開花期は4月	1695年「花壇地錦抄」に載る		国営武蔵丘陵森林公園
0140	Camellia	japonica	‘雪見車’	ツバキ	‘Yukimi-guruma’	ツバキ‘雪見車’	江戸椿、花は白、一重、平開咲き、輪芯、中 ～大輪 開花期は4月	花姿が御所車を連想させることから名付けられ た。‘月見車’‘花見車’と合わせ「三妻」と呼ばれ る古典椿		国営武蔵丘陵森林公園
0141	Camellia	japonica	‘横雲’	ツバキ	‘Yokogumo’	ツバキ‘横雲’	江戸椿、花は濃紅色地に白斑が入る、一重、 平開咲き、筒しべ、中輪 開花期は3～4月	皆川治助の実生といわれ1960年「新撰椿花 集」に載る、紅花を‘能牡丹’という		国営武蔵丘陵森林公園
0142	Camellia	japonica	‘淀の朝日’	ツバキ	‘Yodo-no-asahi’	ツバキ‘淀の朝日’	江戸椿、花は朱紅色地に白斑が入る、牡丹咲 き、丸い弁、割しべ、大輪 開花期は4～5月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る		国営武蔵丘陵森林公園
0143	Camellia	japonica	‘呼子鳥’	ツバキ	‘Yobukodori’	ツバキ‘呼子鳥’	江戸椿、花は極淡桃色、一重、ラッパ咲き、 筒しべ、小～中輪 開花期は4～5月	1859年「椿伊呂波名寄色附」に載る、明治以 来「三鳥」の一つ		国営武蔵丘陵森林公園
0144	Camellia	japonica	‘乱拍子’	ツバキ	‘Ranbyōshi’	ツバキ‘乱拍子’	江戸椿、花は紅色地に大小の白斑が入る、弁 幅広い八重、しべは貧弱、大輪 開花期は3～4月	1695年「花壇地錦抄」に載る、別名‘横波紋 (中部)’		国営武蔵丘陵森林公園
0145	Camellia		‘炉開き’	ツバキ	‘Robiraki’	ツバキ‘炉開き’	花は淡桃～桃色、一重、平開咲き、茶しべ、 極小輪 開花期は9～4月	新潟県でできたチャノキとユキツバキの自然交 雑種		国営武蔵丘陵森林公園
0146	Camellia	japonica	‘和歌の浦’	ツバキ	‘Wakanoura’	ツバキ‘和歌の浦’	江戸椿、花は淡桃色地に紅色の小絞り、八 重、散り～筒しべ、中輪 開花期は4月	1859年「椿伊呂波名寄色附」の記述内容とは 多少異なる		国営武蔵丘陵森林公園

※ H列の品種名の読みおよびK列の備考は「日本ツバキ・サザンカ名鑑」（誠文堂新光社・日本ツバキ協会編、1998年）による